

サンクトペテルブルク案内



2023年 4月

在サンクトペテルブルク日本国総領事館

Nab.reki Moiki, 29

Наб. реки Мойки, 29

TEL: +7 (812) 314-14-34

ryoji@px.mofa.go.jp

サンクトペテルブルク案内

目次

1. 概要	
I. 沿革	1
II. 地勢・気候	2
III. 面積・人口	3
IV. 通貨	3
V. 交通	3
2. 観光名所	
I. 市内	6
II. 郊外	17
3. 劇場・コンサートホール等	18
4. ホテル	20
5. レストラン	22
6. デパート・店舗	27

※本冊子に記載された各種施設の電話番号や営業時間、ホームページアドレス等は変更される可能性がありますのでご注意ください。

1. 概要

I. 沿革

ネヴァ川といく筋もの運河の走る「水の都」サンクトペテルブルクは、帝政ロシアの首都として、また革命勃発の地として歴史的に有名ですが、今もなおロシア第二の都市として、政治、経済、学術文化の中心地です。「サンクト」（「聖なる」の意）抜きで、単に「ペテルブルク」又は、親しみを込めて「ピーテル」とも呼ばれています。

元々はフィン人漁民しか住まない沼地でしたが、近代ロシア国家の建設のためには、海洋への出口と「西欧への窓」が不可欠と考えたピョートルⅠ世（大帝）は、1703年、ここに新しい都を築きました。

1712年にはモスクワから当地に遷都、以来、西欧各国から招かれた優秀な建築家により、ロシアには珍しく西欧風の都になりました。当市の生みの親であるピョートル大帝、中興の祖である女帝エカテリーナⅡ世を経て、19世紀前半のニコライⅠ世により都市整備の仕上げがなされました。

約二世紀にわたりロシア帝国の首都であった当市も、ロシア革命の翌年、1918年3月にその座を再びモスクワに譲りました。フィンランド国境への近さから、ソビエト新政権が懸念を抱いたためと言われます。第二次大戦では900日もの間ドイツ軍に包囲され（1941～1943年）、記録的な寒波もあって一般市民にも百万人ともいわれる餓死者、病死者が出ました。砲撃や空爆により街は大きな被害を受けましたが、戦後

に復旧がなされ、美しい歴史都市としてよみがえっています。現在、市の中心部にある建築は、大半が18～19世紀のものです。

歴史の渦の中で、当市は何度も改称されています。1914年の第一次大戦勃発とともに、ドイツ風の「サンクトペテルブルク」はロシア風に「ペトログラード」と改められました（どちらも意味は同じで、「ピョートル大帝の街」、「使徒ペテロの守護する街」、「石の街」といった意味が掛け合わされています）。ロシア革命を経て、1924年にレーニンが亡くなると「レニングラード」（レーニンの街）と改名されますが、ソ連の解体前夜、1991年9月には、住民投票の結果、再び「サンクトペテルブルク」となりました。



「北のベネチア」と称えられるように、市内には40以上の運河や河川が流れ、橋の数は340以上にのぼります。当地の代表的河川であるネヴァ川には美しい橋が多数架けられていますが、船を通すため、いずれもはね橋構造になっています。夏期にはいくつかの橋が午前1時過ぎから5時頃まで開いた状態となります。その光景はなかなかの見物ですが、橋の通行は遮断されます。

行政面では、サンクトペテルブルク市はモスクワ市同様、ロシア連邦の「連邦構成主体」に指定されているため、州や共和国などと同等の扱いです。

また、プーチン大統領、メドヴェージェフ元首相をはじめとする多くの政権幹部が当市の出身です。

わが国との関係では、1874年（明治7年）に当市に日本国公使館を設置。1908年（明治41年）には大使館に改称されましたが、ロシア革命後の1918年には引き揚げとなりました。当館は、1971年5月に開設され、現在に至っています。

サンクトペテルブルク市は、1979年8月16日より大阪市と姉妹都市関係にあります。また、サンクトペテルブルク市クロンシュタット地区は、2001年7月6日に兵庫県洲本市（旧五色町）と姉妹都市関係を樹立しました。なお、市の外側一帯（市域は含まず）はレニングラード州が管轄していますが、同州は1994年11月4日より、京都府と姉妹都市関係にあります。

Ⅱ. 地勢・気候

北緯約60度、東経約30度に位置し、高緯度であるため夏の約50日間が白夜となります。白夜の期間は日没が22:30前後まで遅くなり、太陽が地平線に隠れた後も空は真っ暗にはなりません。白夜の始まりは5月25、26日頃、終わりは7月16、17日頃です。

対して、冬季はかなり日が短くなり、日の出が10:00、日没が15:00となります。また、基本的に曇天または雪が続き、その間、太陽を目にする機会は10日に一度程度です。

気候は、比較的多湿で年間を通じて曇天の日が多く、年間の晴天日は平均で約 62 日です。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最高 気温	3.5	4.4	10.2	15.8	22.1	30.6	30.9	31.1	18.0	14.5	11.2	3.6
最低 気温	-21.2	-19.2	-11.4	-5.7	1.7	9.4	12.0	8.3	4.2	-0.6	-10.4	-9.2
降水量 (ミリ)	63	63	14	18	26	47	76	113	67	75	50	67

(2022 年データ)

Ⅲ. 面積・人口 (2023 年 2 月現在)

面積：1,439 km² (隣接するレニングラード州は約 83,908 km²)

人口：約 561 万人 (レニングラード州約 201 万人)

Ⅳ. 通貨 (2023 年 3 月 3 日現在)

通貨単位はルーブル (Рубль / Ruble)

為替レートは 1 米ドル=75.47 ルーブル, 1 ルーブル=1.80 円

Ⅴ. 交通

当地で利用可能な交通手段は主に以下のとおり。

(※タクシー以外の交通手段は、スリ・強盗の被害に遭う可能性があるため、利用の際には貴重品や持ち物及び周辺に十分注意してください。)

(1) 地下鉄 (メトロ)

利用料金は 70 ルーブル。駅の券売所・券売機でジェットン (コイン型の乗車券) を買い、改札に挿入して入場。一度入場すると、改札から出ない限り、乗換え等での追加料金は発生しません。

(2) バス・トロリーバス・トラム (路面電車)

利用料金は 65 ルーブル。乗車後に車内にいる精算係 (コンダクター) に料金を払い、乗車券を受け取るシステムは共通です。係が、誰が料金を支払ったか時々忘れてしまい、確認に来ることもあるので、降車するまで乗車券を保持してください。降車しない限り、追加料金は発生しません。

※公共交通機関共通電子カード「Подорожник」(ポドロージュニク):

対象: 地下鉄 (メトロ)、バス、トロリーバス、トラム (路面電車)

日本の「Suica」の様に、お金をチャージして専用リーダーにタッチするだけで、市内の全ての公共交通機関が利用できる。本カードを使用した場合、乗車賃が割引される。地下鉄 (メトロ) は 49 ルーブル、バス、トロリーバス、トラムは 44 ルーブルとなる。

地下鉄駅の券売所等で、60 ルーブルで購入可能。上記割引制度もあり、長期滞在者にとっては便利。(日本のように買物の支払に使用することはできない。)

なお、最近では地下鉄やバス等で、タッチ決済付クレジットカードでの支払い可能な専用リーダーも普及している。

(3) マルシュルートカ

バスのように決まったルートで運行されている、乗り合いタクシー（車両は中型バス程度）。利用料金はルートによって 25～200 ルーブル（2023 年）。利用方法は、乗車してから運転手にお金を渡し、目的の場所で運転手に停めてもらう（料金はルート毎に一律）。近年ではカード決済の可能な車両も増えているが、小銭を用意して乗車することが無難。

バス停での停車が基本だが、乗客の希望により突然停車することもある。利用の際には、車体にかかれた走行ルート番号で行先をよく確認することが肝要。

参考：市内ルート・料金の案内サイト <https://www.spbmar.info/>

(4) タクシー

スマートフォンから「Yandex Taxi (サイト: taxi.yandex.ru)」や「taxovichkof (サイト: taxovichkof.com)」といった専用アプリによって手配するのが一般的（英語にも対応）。利用方法は以下のとおり。

(ア) アプリを開き、地図上から乗車場所を選択（GPS 機能がオンになっていれば自動的に現在地が表示されるものの、位置が正しいかは要確認）。

(イ) 行き先を地図上から、または住所を入力して選択。

(ウ) 所要時間と料金が表示される。希望する車を選択し（バンタイプなども選択可）、予約する。

(エ) 何分後に到着という情報と共に、車種・車番が表示される。

(オ) 支払いは降車時に現金、またはクレジットカード情報を事前に登録することによって、カードでの自動精算も可能。（お釣りが十分にあるタクシーは多くないため、カード精算が安全です。）

※ 上記以外の方法での「流し」等のタクシーは、法外な料金の請求などトラブルの原因となるので、利用しない。ホテルに滞在する場合には、レセプションで信頼できるタクシーが手配可能で、料金も事前に分かるため、安心して利用可。

(5) 郊外行きのロシア国営鉄道

「2. 観光名所 II. 郊外」(P. 17) のペテルゴフ、プーシキン（ツァールスコエ・セロー）、パヴロフスクにはロシア国営鉄道の郊外行き列車が通じている。それぞれの出発駅は、ペテルゴフへはバルティースキー駅、プーシキン、パヴロフスクへはビテプスキー駅から。日本と同様に、駅の券売機で乗車券を購入し、改札を抜けてホームで乗車する。レシートのような乗車券は、車内での検札係によるチェック、到着後に駅から出る際にも改札で必要になるため、無くさぬよう注意。

2. 観光名所

I. 市内			芸術広場周辺		
(1)	ペトロパヴロフスク要塞	P.6	(25)	芸術広場	P.12
ワシリー島			(26)	ロシア美術館	P.12
(2)	ストレルカ	P.6	(27)	ロシア民族学博物館 救世主復活教会	P.13
(3)	ロストラの柱	P.6	(28)	(血の上の救世主教会)	P.13
(4)	サンクトペテルブルク国立大学	P.7	(29)	ミハイロフ城(技師の城)	P.13
(5)	メンシコフ宮殿	P.7	ネフスキー大通り沿い		
(6)	ピョートル I 世記念 人類学・民族学博物館(クンストカメラ)	P.7	(30)	ネフスキー大通り	P.13
イサク聖堂周辺			(31)	旧海軍省	P.14
(7)	デカブリスト広場	P.8	(32)	ストロガノフ宮殿	P.14
(8)	青銅の騎士像(ピョートル大帝銅像)	P.8	(33)	カザン聖堂	P.14
(9)	イサク聖堂	P.8	(34)	ゴスチーヌィー・ドウヴォール百貨店	P.14
(10)	マリインスキー宮殿(市議会議事堂)	P.8	(35)	エカテリーナ II 世像	P.14
(11)	アストリア・ホテル	P.9	(36)	ロシア国立ドラマ劇場 「アレクサンドリンスキー劇場」	P.15
(12)	イサク広場	P.9	(37)	国立図書館	P.15
(13)	ユスポフ宮殿	P.9	(38)	ロッシ通り	P.15
エルミタージュ美術館及び日本国総領館周辺			(39)	ワガノワ記念バレエ学校	P.15
(14)	エルミタージュ美術館(「冬宮」)	P.9	(40)	アニチコフ橋	P.15
(15)	宮殿広場	P.10	(41)	ファベルジェ博物館	P.16
(16)	アレクサンドルの円柱	P.10	(42)	蜂起広場	P.16
(17)	エルミタージュ美術館新館(旧参謀本部) と凱旋アーチ	P.10	(43)	スモーリヌィ(市政府庁舎)	P.16
(18)	プーシキンの家博物館	P.10	歴史的墓苑		
ネヴァ川河畔			①	ピスカリョフ記念墓地	P.16
(19)	マルス広場	P.11	②	ラザレフ墓地とチフヴィンスキー墓地	P.17
(20)	大理石宮殿	P.11	③	ヴォルコヴォ墓地	P.17
(21)	夏の庭園	P.11	II. 郊外		
(22)	ピョートル I 世の小屋	P.11	(1)	ペテルゴフ	P.17
(23)	巡洋艦「オーロラ」	P.12	(2)	プーシキン(ツァールスコエ・セロー)	P.17
(24)	モスク	P.12	(3)	パヴロフスク(パヴロフスキー・パーク)	P.18

I. 市内

(1) ペトロパヴロフスク要塞

Peter and Paul Fortress / Петропавловская крепость



ピョートル大帝によるサンクトペテルブルクの建都に先立ち、その防御のためネヴァ川河口に築造された。この名は、当市の守護聖人とされる使徒ペテロとパウロにちなむ。

建設は 1703 年 5 月 16 日（旧暦。新暦の現在では 27 日）に始まり、この日がサンクトペテルブルク誕生の日とされる。のちにバルト海沖合コトリン島にクロンシュタット要塞が完成すると、当要塞は政治犯用の監獄へと役目を変え、帝政に反抗した人々が多数投獄

された。

要塞は小さなザイチャー（ウサギ）島にあり、中央にはペトロパヴロフスク教会（ドミニコ・トレジーニ建築、高さ 122.5 メートルの尖塔上の黄金の天使像は当市のシンボル）があり、そこにはピョートル大帝から最後の皇帝ニコライ II 世まで、ロマノフ王朝歴代の皇帝の棺が安置されている（ピョートル II 世及びイワン VI 世を除く）。なお、ピョートル大帝以前の皇帝たちはモスクワのクレムリンに眠る。

●所在地：Petrovskaya Krepost. 3 / Петропавловская крепость, 3

●HP: https://www.spbmuseum.ru/themuseum/museum_complex/peterpaul_fortress/?lang_ui=en

ワシリー島

(2) ストレルカ Strelka / Стрелка



エルミタージュ美術館(14)のネヴァ川対岸、ペトロパヴロフスク要塞の左手に岬状に突き出ている一帯（ワシリー島の突端）。ストレルカは「岬」の意。周辺一帯は学術・文化地域となっており、ロ

シア文学博物館、動物学博物館、クンストカーメラ、サンクトペテルブルク国立大学、科学アカデミーなどが軒を並べる。



(3) ロストラの柱 Rostral Columns / Ростральные колонны

かつて商業港であったストレルカの当時を忍ばせる二つの赤い灯台。今日では灯台としての役目は終えたが、主要な祝祭日には頂に炎が灯される。「ロストラ」とは船の舳（へ）の意で、柱の側面に多数突き出ている装飾物で、敵船の舳を切って勝利を祝う古代ローマの伝統にならったもの。柱の下にある 5 メートルほどの白い彫刻は、ロシアの 4 つの偉大な川（ヴォルホフ、ネヴァ、ドニエプル、ヴォルガ）を表現している。

(4) サンクトペテルブルク国立大学

Saint-Petersburg State University / Санкт-Петербургский Государственный Университет



大きい朱塗りのバロック建築が大学本館で、当地でも最も古い建物の一つ。

モスクワ大学と並びロシアを代表する大学で、周期律で有名な化学者メンデレーエフ、条件反射を発見した生理学者パヴロフを輩出。チェルヌィシェフスキー、レーニン（法学部の卒業検定試験を受け弁護士資格を取得）らも学び、帝政ロシアにおける新社会思潮の拠点でもあった。今日では、プーチン大統領、メドヴェージェフ元首相の母校としても有名。

現在は 24 学部を擁し、市内各所にあるキャンパスに教師約 6 千人、学生 3 万人以上が在籍する。なお、東洋学部には日本語学科があり、約 90 名の学生が日本語を学ぶ。

東洋学部付属図書館には、「有栖川文庫」と呼ばれる 3465 冊の書籍があり、これは 1882 年、明治天皇の命によりアレクサンドル三世の戴冠式に出席すべく当地を訪問した有栖川宮が、当地で日本語が学ばれていることに感銘を受け、今後の両国の相互理解のため、互いの母国語の習得に更に励むようにとの願いを込めて寄贈した図書。

わが国の大阪大学、大阪市立大学、早稲田大学、慶応大学などと交流しており、また日本企業のロシア語研修生も受け入れている。

●所在地：Universitetskaya emb. 7-9 / Университетская наб., 7-9

(5) メンシコフ宮殿 Menshikov Palace / дворец Меншикова



サンクトペテルブルク国立大学の左隣にある黄色の建物が、ピョートル大帝の幼なじみで権勢をふるったメンシコフの旧邸宅で、1917 年 6 月、第 1 回全ロシア・ソヴィエト会議が開催された。

現在はエルミタージュ美術館の別館となっており、ピョートル大帝時代のユニークな芸術品や日用品が一般に公開されている。

●所在地：Universitetskaya emb.15/Университетская наб., 15

●HP: <https://www.hermitagemuseum.org/wps/portal/hermitage/visitus/menshikov-palace?lng=en>

(6) ピョートル I 世記念人類学・民族学博物館（クンストカメラ）

Kunstkamera / Кунсткамера



1718～34 年建築。元々はピョートル大帝が収集した珍品コレクションの展示場（クンストカメラ：名前の由来はドイツ語の「驚異の部屋」）で、一般に公開された博物館としてはロシア最古。現在は日本人をはじめ、諸民族の習俗に関する資料も数多く展示。18 世紀ロシアの大博物学者を記念する「ロモノーソフ博物館」を併設。

●所在地 : Universitetskaya emb.,3 / Университетская наб.,3

●HP: <https://www.kunstkamera.ru/en/>

イサク聖堂周辺

(7) デカブリスト広場 Dekabristov sq. / Пл. декабристов



帝政時代はセナツカヤ（元老院）広場と呼ばれ、ここで行われたデカブリストの蜂起（1825 年）をたたえて、ロシア革命後、今の名に改名された。デカブリストとは「12 月の人々」の意味で、蜂起が 12 月 14 日に行われたことにちなむ。



(8) 青銅の騎士像（ピョートル大帝銅像）The Bronze Horseman / Медный всадник

エカテリーナ II 世の命を受けたフランスの彫刻家ファルコーネにより、1782 年に広場の中央に建造された。

像の下方、波形の土台は海への出口を開こうとするピョートル大帝の意志を、後足で立つ馬は発展するロシアを、馬に踏まれる蛇は外敵を意味し、ロシアの勝利を表す。

(9) イサク聖堂 St. Isaac's Cathedral / Исаакиевский собор



高さは 101.5 メートルあり、フランスの建築家モンフェランにより 1818 年に着工、58 年に完成。帝政時代は皇帝の礼拝所として利用され、1 万人を収容できるとされる。建物全体が 400 ものレリーフや青銅の彫刻、さらに花崗岩の一枚岩でできた 112 本の円柱によって飾られている。

●所在地 : Isaakiyevskaya sq. 4 / Исаакиевская пл., Д.4

●HP: <https://www.cathedral.ru/en>

(10) マリンスキー宮殿（市議会議事堂）Mariinsky Palace / Мариинский дворец



19 世紀半ば、ニコライ I 世が娘マリアのために建築家アンドレイ・シュタッケンシュナイダーに建てさせたもので、現在は市議会議事堂として使用されている。

（オペラ・バレエの殿堂「マリンスキー歌劇場」とは別の建物）

●所在地 Isaakiyevskaya sq., 6 / Исаакиевская пл., 6

(11) アストリア・ホテル HOTEL ASTORIA / ОТЕЛЬ АСТОРИЯ



当地を代表する高級ホテルで、1912 年の建築(リドヴァール設計)。第二次大戦中にレニングラード(当市旧名)陥落を確信したヒトラーが、戦勝レセプションをこのホテルで催そうと考え、招待状まで用意した逸話がある。

●所在地: Bolshaya Morskaya str., 39 / Большая морская ул., 39

(12) イサク広場 St. Isaac's square / Исаакиевская площадь



アストリア・ホテル、イサク聖堂、市議会議事堂(マリインスキー宮殿)に囲まれたこの広場は当市の中心地点とされ、幹線道路の路標はここからの距離を示す。広場の中央、騎上のニコライ I 世像は 1859 年、彫刻家クロートと建築家モンフェランにより建造された。

(13) ユスポフ宮殿 The Yusupov Palace/ Юсуповский

дворец



建築家ワレン・デラモット、ミハイロフ II 世、モニゲッチ等によって 200 年の歳月をかけて建てられた。1830 年から 1917 年にかけてユスポフ家の住居で、1916 年 12 月 17 日にはニコライ II 世と親密であった聖職者グリゴリー・ラスプーチンがここで暗殺された。現在は博物館となっており、宮殿内の劇場では様々なコンサートや文化行事が開催されている。

●所在地: Dekabristov street, 21 / Улица Декабристов, 21

●HP: <https://www.yusupov-palace.ru/en>

エルミタージュ美術館及び日本国総領事館周辺

(14) エルミタージュ美術館(冬宮) The State Hermitage (The Winter Palace) / Государственный Эрмитаж (Зимний дворец)



ピョートル大帝時代の 1711 年に造営が始まった後、19 世紀まで何度か建て増しされて現在の威風堂々たる姿となった。1917 年までは歴代皇帝の御所で、ロシア革命後の 22 年に国立エルミタージュ美術館となり、現在に至る。部屋の総延長は 27 キロ、絵画その他の収蔵品は 300 万点以上。

西欧の美術品については、レオナルド・ダ・ヴィンチ、ラファエロ、ミケランジェロ、ルーベンス、レンブラント、ピカソ、マチスを収蔵。また、ロシア、エジプト、ビザンチンの古代遺物等も展示されている。

る。現在、印象派等の絵画の多くが旧参謀本部の建物内の新館（１７）にて公開されている。

●所在地：Dvortsovaya square, 2 / Дворцовая площадь, 2

●HP: <https://www.hermitagemuseum.org/wps/portal/hermitage?lng=en>

●電子チケット：上記リンクの《TICKETS》より購入可能。入力したメールアドレスにリンクが送付され、リンク先に表示されるバーコードを入口ゲートのリーダーにかざすことで、入場できる。

（１５）宮殿広場 Palace square / Дворцовая площадь



イサク広場と並び当市の中心的な広場であり、ロシア史上の大事件の舞台となった。特に、1905年1月9日の「血の日曜日事件」（窮乏生活に耐えかね、皇帝宛の嘆願書を持って宮殿広場に集結しようとした民衆に対し、軍が発砲し多数の死傷者が出た事件）は、ロシア革命の遠因となった。

（１６）アレクサンドルの円柱 The Alexander Column / Александровская колонна

（上写真右）宮殿広場の中央にそびえ立つ。ナポレオン軍のロシア侵攻である1812年の「祖国戦争」に勝利したのを記念し、時のロシア皇帝アレクサンドルⅠ世の名が冠せられた。高さ47メートルで重さは600トン。

（１７）エルミタージュ美術館新館（旧参謀本部）と凱旋アーチ

General Staff and Triumphal Arch / Главный штаб и триумфальная арка

（上写真左奥）宮殿広場を隔てて冬宮と向き合う。当市の歴史的街並みを完成させた名匠ロッシによって、アレクサンドルの円柱同様、祖国戦争の勝利を記念し1829年に建てられた。

今日では、アーチを境に向かって左半分はマチス、ゴッホ、モネ、ルノアールなどが展示されているエルミタージュ美術館の新館であり、右半分は軍用で立入り禁止となっている。

（１８）プーシキンの家博物館

The Pushkin Apartment Museum / Мемориальный Музей-квартира А. С. Пушкина

ロシア近代文学の父プーシキン（1799～1837年）を記念する博物館であり、決闘で倒れる直前の4ヶ月間住んだ邸宅。モイカ川を挟んで当館の向かいに所在。

●所在地：Reki Moiki emb.12 / наб. реки Мойки, 12

●http://www.museumpushkin.ru/vserossijskij_muzej_a._s._pushkina/muzej-kvartira_a.s.pushkina/the_pushkin_apartment_museum.html

ネヴァ川河畔

(19) マルス広場 Marsovo Pole / Марсово поле



かつて観兵式が催されたため、ローマの軍神の名にちなんでマルス広場と命名されている。中央には革命家達の記念碑が建てられ、永遠の火が常時灯されている。

●所在地: Naberezhnaya Lebyazh'yey Kanavki, 3 / на б. Лебяжьей канавки, 3

(20) 大理石宮殿 Marble Palace / Мраморный дворец



イタリア人リナルディーの設計で18世紀半ば、エカテリーナⅡ世時代に建てられた宮殿。30種類以上の大理石が使われていることから「大理石宮殿」と呼ばれる（一時ここを居所とした皇族の名をとり「コンスタンチン宮殿」とも称される）。1937年に「レーニン博物館」となったが、現在はロシア美術館の別館。

●所在地: Millionnaya str. 5/1 / Миллионная ул., 5/1

●HP: <http://en.rusmuseum.ru/marble-palace/>

(21) 夏の庭園 Summer Garden / Летний сад



市内で一番古い庭園。イギリス様式の庭園内には、17～18世紀のイタリア人彫刻家による大理石の像が100体余り立ち並んでおり、また、一隅にはピョートルⅠ世が別荘とした「夏の宮殿」がある。帝政時代には貴族達の園遊会が催された。

●所在地: Letny sad, emb. Kutuzova, 2 / Летний сад, наб. Кутузова, 2

ピョートル大帝の夏の宮殿 (Summer Palace of Peter The Great / Летний дворец Петра I)

夏の庭園内にある皇帝一家の住まい。 ●HP: <http://en.rusmuseum.ru/summer-palace-of-peter-1/>

(22) ピョートルⅠ世の小屋 Cabin of Peter The Great / Домик Петра I



ピョートル大帝が要塞建設を監督するために数日間で建てさせたといわれ、当市における最初の家屋とされる。現在は博物館として公開されており、ピョートル大帝の私物、18世紀前半に用いられていた日用品、1700年～21年の対スウェーデン戦争（北方戦争）関連の展示がある。

●所在地: Petrovskaya emb., 6 / Петровская наб., 6

●HP: <http://en.rusmuseum.ru/cabin-of-peter-1/>



(23) 巡洋艦「オーロラ」 Museum on Board the Cruiser AURORA / Крейсер «Аврора»

ロシア帝国海軍の巡洋艦で、1905 年の日本海海戦にも参戦。十月革命の際はネヴァ川から号砲を放ち、臨時政府のたてこもる冬宮への総攻撃の合図が当艦から出された。退役後の現在は博物館となっている。

●所在地：Petrogradskaya emb. 8a / Петроградская наб., 8a

●HP: https://navalmuseum.ru/filials/cruiser_aurora

(24) モスク Mosque / Мечеть



建築家グリチンスキーが、中央アジアのサマルカンドにあるグル・エミル廟を模して 1912 年に建設したもの。

●所在地：Kronverksky pr., 7 / Кронверкский пр., 7

芸術広場周辺



(25) 芸術広場 Arts Square / Площадь Искусств

ロシア美術館、ミハイロフ劇場（オペラ・バレエ）、フィルハーモニー大ホール等、各種芸術施設に囲まれているため、この名称がある。

広場中央のプーシキン像（左写真、アニクーシン作）は当市のシンボルの一つ。

(26) ロシア美術館 Russian Museum / Русский музей（上写真奥）

エルミタージュ美術館のロシア美術部門を移転した美術館。そのため、展示品はロシア美術中心。建物は 1823 年、ロッシの建築で、「ミハイロフ宮殿」とも呼ばれ、10～20 世紀の美術品約 30 万点を所蔵。

絵画ではレーピン、アイヴァゾフスキー、シーシキンらの作品がある。

●所在地：Inzhenernaya str., 4 / Инженерная ул., 4

●HP: <http://en.rusmuseum.ru/mikhailovsky-palace/>

●電子チケット：上記リンクの《Tickets》より購入可能。入力したメールアドレスにリンクが送付され、リンク先に表示されるバーコードを入口ゲートのリーダーにかざすことで、入場できる。

(27) ロシア民族学博物館

Russian Ethnographical Museum / Российский этнографический музей



ロシア美術館の右隣。スピンインの建築（1911年）。旧ソ連諸民族の風俗習慣を模型で展示。

●所在地：Inzhenernaya str., 4/1 / Инженерная ул., 4/1

●HP: <https://www.ethnomuseum.ru/en/>

(28) 救世主復活教会（血の上の救世主教会）

Church of the Resurrection (the Savior on the Spilled Blood) /

Храм Воскресения Христова (Спас на Крови)



農奴解放の英断で有名な皇帝アレクサンドルⅡ世は、1881年に現在の教会が立つ地で暗殺され、その御霊を慰めるため、息子のアレクサンドルⅢ世によって建立された。内部は、福音書の様々な場面を描き出したモザイク画によって飾られており、現在は博物館として一般公開されている。

●所在地：Griboedva Kanala emb., 26 litA / наб. канала Грибоедова, 26, лит. А

●HP: <https://cathedral.ru/en/spas/building>

(29) ミハイロフ城（技師の城）

Mikhailov (Engineer's) Castle / Михайловский (Инженерный) замок



女帝エカテリーナⅡ世の息子であるパーヴェルⅠ世により築造。1801年の建築後、パーヴェルⅠ世はここに1ヶ月余り住み、城内で寝込みを襲われ殺害された。

1817年からは技術学校として使われるようになったため、「技師の城」とも称される。現在、ロシア美術館の別館。

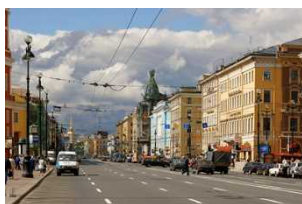
今でも夜更けには孤独なパーヴェル帝の亡霊が徘徊すると言われる。

●所在地：Sadovaya str., 2 / Садовая ул., 2

●HP: <http://www.rusmuseum.ru/mikhailovsky-castle/>

ネフスキー大通り沿い

(30) ネフスキー大通り Nevsky prospekt / Невский проспект



当市の目抜き通りで、最も古くに造られた通りの一つ。金色の尖塔が目印の旧海軍省とアレクサンドル・ネフスキー広場をほぼ一直線に結び、商店やレストラン、カフェ、劇場などが並ぶ。



(31) 旧海軍省 The Admiralty / Адмиралтейство

ネフスキー大通りの北の突きあたりに位置し、エルミタージュ美術館に隣接。ピョートルⅠ世による都市計画の中心として 1705 年に完成。18 世紀は軍艦の造船所だった。現存の建物は 1823 年、建築家ザハローフの作で、海軍技術大学校舎として使用されている。

(32) ストロガノフ宮殿 Stroganov Palace / Строгановский Дворец



ビーフストロガノフでおなじみのストロガノフ家のために、1754 年に名匠ラストレリが造営。現在はロシア美術館の別館で、同家伝来のイコン・コレクションの展示がある。

●所在地：Nevsky pr.17 / Невский пр.,17

●HP: <https://www.rusmuseum.ru/stroganov-palace/>

(33) カザン聖堂 Cathedral of The Icon of Our Lady of Kazan / Казанский собор



建築家ボロニーヒンにより 1801～11 年に建設。ナポレオン戦争での救国の英雄クトゥーゾフ将軍が埋葬されており、聖堂の両側にはクトゥーゾフ将軍、およびバルクライ・デ・トール将軍（同じくナポレオン戦役のロシア側指揮官）の銅像が立つ。

●所在地：Kazanskaya sq. 2 / Казанская пл., 2

(34) ゴスチーヌィ・ドヴォール百貨店 Gostiny Dvor / Гостиный двор



18 世紀の開業。店名は古いロシア語で「交易所」の意味がある。

●所在地：Nevsky pr.35 / Невский пр., 35



(35) エカテリーナⅡ世像

Monument to Catherine The Great / Памятник Екатерине II

庭園の中央にあり、彫刻家チジョフにより 1873 年に建立。鐘の形をしたユニークな銅像で、女帝が足下に政治家、将軍、詩人らを従えている。

(36) ロシア国立ドラマ劇場「アレクサンドリンスキー劇場」

Alexandrinsky Theater / Александринский театр

庭園の奥、黄色い大きな建物（旧帝室劇場、1832 年ロッシ建築）。現在でも戯曲用の劇場として営業。

●所在地：Ostrovskogo sq., 6 / пл.Островского, 6

●HP: <https://en.alexandrinsky.ru/>

(37) 国立図書館 Russian National Library / Российская национальная библиотека



アレクサンドリンスキー劇場右手の建物で、帝室図書館以来 170 年の伝統を持つ。封建的な帝政期にも誰でも入れたため長く「公共図書館」の名で親しまれた。市内各所の新館・別館等をあわせ 1700 万冊の蔵書があり、モスクワの国立図書館（旧レーニン図書館）に次ぐ規模。

●住所：Ostrovskogo sq. 1/3 / Пл. Островского 1/3

●HP: <https://nlr.ru/eng>

(38) ロッシ通り Architect Rossi street / улица Зодчего Росси



アレクサンドリンスキー劇場の裏手にあるロッシ設計の通りで、両脇の建物壁面には古代ギリシア風の円柱が配されている。通りの長さは 220 メートル、幅 22 メートルで、建物の高さも 22 メートル。

(39) ワガノワ記念バレエ学校 The Russian Ballet Academy n.a. Vaganova /

Академия русского балета им. А.Я.Вагановой

ロッシ通りにある 200 年の伝統をもつバレエ学校で、多くの優れたバレリーナを輩出。日本人留学生も学ぶ。内部は見学不可。

●所在地：Zodchego Rossi str., 2 / ул.Зодчего Росси, 2

(40) アニチコフ橋 Anichkov Bridge / Аничков мост



ネフスキー大通りのほぼ中間地点にあり、暴れ馬を御す男性の裸像 4 柱はクロートの作。馬は自然を象徴し、人間が自然に打ち勝つことを意味。現在の橋は 1841 年の建築。

邦人のスリ被害多発地点であり、通行する際はより用心が必要。見知らぬ人に話掛けられても反応しないように。

(4 1) ファベルジェ博物館 Fabergé Museum/Музей Фаберже

ややネフスキー大通りから外れたフォンタンカ通り沿いにある。2013 年にシュワロフスキー宮殿にオープン。インペリアル・イースターエッグでよく知られる金細工師で、宝石商でもあったカール・ファベルジェのコレクションが並ぶ。

●住所： Fontanka river embankment, 21 / наб.реки Фонтанки, 21

●HP: <https://fabergemuseum.ru/en/>

(4 2) 蜂起広場 Vosstaniya Square / Площадь Восстания



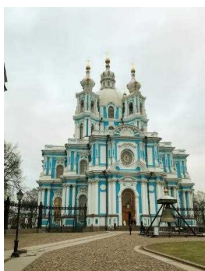
アニチコフ橋を越えて、ネフスキー大通りをさらに進むんだ先に広場が開ける。ロシア革命の第一波、二月革命の際には労働者やコサック部隊の蜂起の場となった。モスクワ駅（モスクワ方面の鉄道が発着）とオクチャーブリスカヤ・ホテルがある。

(4 3) スモーリヌイ（市政府庁舎） Smolny / Смольный



もとは貴族女子学院として 1809 年に建設され、現在は当市政府庁舎。プーチン大統領は、かつて副市長としてここに勤務。

ロシア革命により女子学院は閉鎖。ここで開かれた第二回ロシア・ソヴィエト党大会でソ連邦政府が創立され、モスクワに首都が移される 1918 年 3 月 1 日までは政府の本拠地でもあった。



隣接する空色の教会は、1764 年に建築家ラストレリにより修道院として建てられた。現在は宗教的な行事は行われず、主にコンサートホールとして使用されている。

歴史博物館（スモーリヌイ内。正面玄関より入る。要予約）

Historical Memorial Museum «Smolny» / Историко-мемориальный музей «Смольный»

●所在地： Smolny pass., 1b / Смольный проезд, 1Б ●HP: <https://smolny-museum.ru/>

スモーリヌイ教会 Smolny Cathedral / Воскресенский смольный собор

●所在地： Rastrelli sq., 3/1 / пл.Растрелли, 1 ●HP: <http://smolnyspb.ru/>

歴史的墓苑

①ピスカリョフ記念墓地 Пискаревское мемориальное кладбище

市内北部にある広大な墓地で、第二次大戦時のドイツ軍による包囲中に餓死・病死した人のうち、47 万人がここ

に埋葬されている。入り口付近の施設には当時の写真等が展示。

②ラザレフ墓地とチフヴィンスキー墓地 Лазаревское и Тихвинское кладбища

ネフスキー大通り東端にあるアレクサンドル・ネフスキー修道院の境内にある。18 世紀の偉人の墓地であり、建築家ヴォロニーヒン、ザハーロフ、トマス・デ・トモン、ロッシ、詩人・学者のロモノーソフらの墓がある。チフヴィンスキー墓地には、19 世紀に活躍した作家クルイローフ、バラティンスキー、ドストエフスキー、作曲家ムソルグスキー、リムスキー・コルサコフ、チャイコフスキー、グラズノフが眠る。

③ ヴォルコヴォ墓地 Волковское кладбище

19 世紀の社会評論家ベリンスキー、ドブロリューボフ、作家ツルゲーネフ、サルティコフ・シチェドリン、クプリーン、20 世紀の代表的詩人ブロークのほか、レーニン家の墓（本人はモスクワ「赤の広場」のレーニン廟に眠る）もある。

II. 郊外

（１）ペテルゴフ Peterhof / Петергоф



ペテルブルク市の中心から約 40 キロ離れ、フィンランド湾南岸に位置。皇帝一家の夏の住まいとして、ピョートル大帝の命により建設された。第二次大戦で大きな被害を受けたが、一部を除き修復された。

広大な敷地内では、宮殿に加え、ユニークな形をした数々の噴水が見どころ（噴水は 4 月～10 月の間のみ稼働）。

●所在地：Peterhof, Razvodnaya str. 2 / г. Петергоф, ул. Разводная 2

●HP：<http://peterhofmuseum.ru/>

（２）プーシキン（ツァールスコエ・セロー）

Pushkin / Пушкин (Tsarskoye Selo / Царское село)



サンクトペテルブルクから南に約 25 キロ離れ、帝政期には皇帝一家の避暑地だった（ツァールスコエ・セローは「皇帝の村」の意）。この地域が「プーシキン」と呼ばれるのは、国民的詩人プーシキンが学生時代を過ごしたことにちなむ。

ピョートル大帝が妃エカテリーナ I 世に贈った地所がはじまりで、その後 1741 年には大帝の娘である女帝エリザヴェータの手に移り、52～57 年にかけて建築家ラストレリにより荘厳な大宮殿が建設された。

エカテリーナ II 世の時代（1762～96 年）にも、さかんに増築・改築が行われた。

日本からの漂流民である大黒屋光太夫が、はるばるアリューシャン列島からロシアを横断してペテルブルクへとたどり着き、大宮殿の中の「絵画の間」で、エカテリーナ II 世に拝謁した。

「琥珀の間」で壁を埋めつくしていた琥珀は戦中ドイツ軍により略奪され、現在も行方不明だが、2003 年に部

屋全体の修復作業が完了した。

宮殿の隣にはプーシキンが青年時代に学んだリツェイ（帝政時代の男子貴族学校）があり、現在は記念館となっている。

エカテリーナ宮殿

●所在地：Sadovaya str, 7. Pushkin / г. Пушкин Садовая ул, 7. ●HP: <http://tzar.ru/>

プーシキン記念館（リツェイ）

●所在地：Sadovaya str., 2. Pushkin / г. Пушкин Садовая ул., 2.

●HP: <http://www.museumpushkin.ru/>

（３）パヴロフスク（パヴロフスキー・パーク）

Pavlovsk (Pavlovsk park)/ Павловск (Павловский парк)



上記プーシキンの隣に位置する。ロシア鉄道のパヴロフスク駅を出ると、目の間に広大な公園である「パヴロフスキー・パーク」の入口がある。

園内には自然散策路、多くの橋、様々な邸宅、宮殿がある。

●所在地：Sadovaya Ulitsa, 20. Pavlivsk / Павловск, ул. Садовая, 20

●HP: <https://en.pavlovskmuseum.ru/about/park/>

3. 劇場・コンサートホール等

観覧券は、各劇場のインターネットサイト、劇場内や街中のチケット売場、またはホテルのサービス・ビューローを通じて購入が可能。ただし、(1) のマリインスキー劇場の場合「一般チケット」と、「当地居住者のみ有効の割安チケット」が存在し、旅行者とわかると入場拒否されるため、注意が必要。割安チケットには、券面にロシア語でその旨記載されています。

（１）マリインスキー劇場（旧キーロフ記念オペラ・バレエ劇場）

Mariinsky Theater / Мариинский театр



1783年に建てられたボリシヨイ（カメンヌイ）劇場を前身として、1860年A.K.カボスの設計で完成。モスクワのボリシヨイ劇場と並ぶロシアバレエ・オペラの殿堂として活動が続

ける。芸術監督はゲルギエフが務める。2006年には、本館（写真左）のとなりに新館の「マリインスキー2」（写真右）、少し離れた位置にコンサートホールがオープン。当劇場は、ロシア連邦文化省が所管。

●HP: <http://www.mariinsky.ru/> ●所在地：（本館）Teatralnaya sq., 1 / Театральная пл., 1

（マリインスキー2）Dekabristov str., 34 / ул. Декабристов 34

（コンサートホール）Dekabristov str., 37 / ул. Декабристов 37

●チケットの購入：上記アドレスから演目を選び、《Buy chikets》から座席選択画面に進み、クレジット

トカードにて決済する。登録したメールアドレスに電子チケットが送付されるので、劇場入口で係員にチケットのバーコードを掲示する。

(2) ミハ일로フスキー劇場 (旧ムソルグスキー記念オペラ・バレエ劇場)

Theater of Mihailovsky / Михайловский Театр



1918年にオープンし、ショスタコーヴィチ、ハチャトゥリヤン、プロコフィエフら近代ロシアの作曲家による作品が初演された。当館から徒歩10分。

当劇場は、サンクトペテルブルク市が所管。

●HP: <http://www.mikhailovsky.ru/>

●所在地: Iskusstv sq., 1 / пл. искусств, 1

●チケットの購入: 上記アドレスから演目を選び、《Buy chikets》から座席選択画面に進み、クレジットカードにて決済する。登録したメールアドレスに電子チケットが送付されるので、劇場入口で係員にチケットのバーコードを掲示する。

(3) ショスタコーヴィチ記念サンクトペテルブルク・フィルハーモニー (大ホール)

Philharmonic, Bolshoi Hall / Филармония им. Д.Д.Шостаковича

作曲家ドミトリー・ショスタコーヴィチは、第二次大戦の「レニングラード包囲戦」の最中にも交響楽団を率いて市内で公演を続け、「交響曲第7番」を作曲し、包囲下の市民の心の支えとなった。

その名を冠したホールであり、当地フィルハーモニー交響楽団の本拠地。芸術監督はテミルカーノフ。

●所在地: Mikhailovskaya str., 2 / Михайловская ул., 2 ●HP: <http://www.philharmonia.spb.ru/>

(4) グリнка記念サンクトペテルブルク・フィルハーモニー (小ホール)

Philharmonic, Maly Hall / Филармония, Малый зал им.М.И.Глинки

●HP: (前記のサンクトペテルブルク・フィルハーモニー (大ホール) と同じ)

●所在地: Nevsky pr., 30 / Невский пр., 30

(5) ロシア国立ドラマ劇場「アレクサンドリンスキー劇場」

Alexandrinsky Theater / Александринский театр



建物はロッシの建築で、1832年オープンの旧帝室劇場。革命後はプーシキン記念ドラマ劇場と呼ばれた。主に戯曲を上演。

●HP: <http://www.alexandrinsky.ru/>

●所在地: 本館 sq. Ostrovskovo, 6 / пл. Островского, 6

新館 Fontanka emb. 49A / Наб. р. Фонтанки 4

(6) トフストノーゴフ記念ボリショイ・ドラマ劇場 (旧ゴーリキー記念アカデミー劇場)

Bolshoi Drama Theater n.a. Tovstonogov / Большой драматический театр им. Товстоногова

1878年に完成した建物を用い、1919年に劇場としてオープン。もっぱら戯曲を上演トフストノーゴフは長年この劇場を率いた演劇人（故人）の名。2018年9月には歌舞伎座の公演が行われた。

●HP: <http://www.bdt.spb.ru/> ●所在地: Fontanka river emb., 65 наб. реки Фонтанки, 65

カメンノオストロフスキー劇場 (新館)

●所在地: sq. Starogo Teatra 13 пл. Старого Театра, 13

(7) マールイ・ドラマ劇場 (ヨーロッパ劇場)

Maly Drama Theater / Малый драматический театр

レフ・ドージン率いる戯曲専門の劇場。芸術性の高さが世界的に認められ「ヨーロッパ劇場」の称号が付与された。

●所在地: Rubinshteina str., 18 ул. Рубинштейна, 18 ●HP: <https://www.mdt-dodin.ru/>

(8) エルミタージュ劇場 Hermitage Theater / Эрмитажный театр

かつての宮廷劇場。運河越しに橋でエルミタージュ美術館と結ばれている（公演のある時以外は入場不可）。

●所在地: Dvortsovaya emb., 34 / Дворцовая наб., 34 ●HP: <http://balet-spb.ru/>

(9) 国立サーカス First National Circus of Russia / Государственный цирк

1877年にオープンしたロシア初の屋内サーカス。

●所在地: Reki Fontanki emb., 3A / наб. реки Фонтанки, 3A ●HP: <http://www.circus.spb.ru/>

4. ホテル

グランド・ホテル・ヨーロッパ (★★★★★) Grand Hotel Europe / Гранд-отель Европа

●所在地: Mikhailovskaya str. 1/7 / Михайловская ул., 1/7 ●HP: www.grandhoteleurope.com

当地を代表する高級ホテル。建物は1820年代の建築。

アストリア (★★★★★) ASTORIA / Астория

●所在地: Bolshaya Morskaya str. 39 / Большая Морская ул., 39

●HP: www.roccofortehotels.com/hotels-and-resorts/hotel-astoria/

グランド・ホテル・ヨーロッパとともに当地を代表する老舗高級ホテル。イサク聖堂前に所在。

アングレテール (★★★★★) Angleterre / Англетер

●所在地: Malaya Morskaya str. 24 / Малая Морская ул., 24 ●HP: www.angleterrehotel.com

アストリア・ホテルと同じ建物を共有するホテル。

ライオン・パレス・ホテル (★★★★★) (旧「フォーシーズンズ」ホテル系列)

Lion Palace Hotel / Лион Палас Отель

●所在地 : Voznesensky prospect. 1 / Вознесенский пр., 1 ●HP : <https://lionpalacehotel.com/>

2013 年にオープンした五つ星ホテル。レストランの内装は日本人デザイナーが手がけている。

グランド・ホテル・モイカ 22 (★★★★★) Grand Hotel Moika 22 / Гранд Отель Мойка 22
(旧「ケンピンスキー」ホテル系列)

●所在地 : Moika river emb. 22 / наб. реки мойки., 22 ●HP : <https://moika22-stpetersburg.com/en/>

当館及びエルミタージュ美術館から最も近い五つ星ホテル。2006 年オープン。

コリンシア・ホテル (★★★★★) CORINTHIA / Коринтия (Невский Палас)

●所在地 : Nevsky pr. 57 / Невский пр., 57 ●HP : <https://www.corinthia.com/st-petersburg/>

ネフスキー大通り沿いに所在。

ラディソン・ロイヤル (★★★★★) Radisson Royal Hotel / Рэдиссон Ройял Отель

●所在地 : Nevsky pr. 49/2 / Невский пр., 49/2 ●HP : www.radisson.ru/hotel-stpetersburg

ネフスキー大通り沿いに所在。

グランド・ホテル・エメラルド (★★★★★) Grand Hotel EMERALD

●所在地 : Suvorovsky pr. 18 / Суворовский пр., 18 ●HP : www.grandhotelemerald.com

豪華な内装のホテル。

エルミタージュ美術館公式ホテル (★★★★★) The State Hermitage Museum Official Hotel

●所在地 : Pravdy st. 10 / ул. Правды, 10 ●HP : <http://thehermitagehotel.ru/>

エルミタージュ美術館により 2013 年にオープンした 5 つ星ホテル。エルミタージュ美術館からは車で 20 分の距離にある。

パレス・ブリッジ・ホテル (★★★★★) Palace Bridge Hotel (旧「ソコス」ホテル系列)

●所在地 : V. O. Birzhevoi pereulok. 2-4 / В.О., Биржевой пер. 2-4

地下鉄ヴァシレオストロフスカヤ駅より徒歩 10 分。市内ホテルで最も大きい室内プールを持つ。

ルネッサンス (★★★★★) RENAISSANCE St. Petersburg Baltic Hotel

(旧「マリオット」ホテル系列)

●所在地 : Pochtamtskaya str. 4 / Почтамтская ул., 4 ●HP : <https://salerussiatravel-renaissancespb.ru/>

レストランのテラスからはイサク聖堂を望む。2004 年オープン。

SOサントペテルブルク (★★★★★) SO St Petersburg

●所在地：Vosnesensky pr. 6 / Вознесенский пр., 6

●HP：<https://www.accorhotels.com/gb/hotel-B315-so-sofitel-st-petersburg/index.shtml>

2011年にオープンした近代的なホテル。

ロッテホテル (★★★★★) Lotte Hotel St.Petersburg

●所在地：Pereulok Antonenko. 2 / Переулок Антоненко, 2

●HP：<https://www.lottehotel.com/stpetersburg-hotel/ja.html>

イサク聖堂付近。2017年オープン。

以下、四つ星ホテル

プーシュカ・イン (★★★★) PUSHKA-INN/ПУШКА ИНН

●所在地：14, Moyka river emb. / Наб. реки Мойки, 14 ●HP：www.pushkainn.ru/

モイカ川を挟んで当館の向かい側にあるホテル。

ゴールデン・トライアングル・ブティックホテル (★★★★) Golden Triangle Boutique Hotel

●所在地：Bolshaya Konyushennaya, 12 / Большая Конюшенная, 12

●HP：<http://goldtriangle.ru/>

地下鉄ネフスキープロスペクト駅より徒歩10分。

アンバサダー・ホテル (★★★★) “Ambassador” Hotel/“Амбассадор”Отель

●所在地：Pr. Rimskogo-Korsakova. 5-7 / Пр. Римского-Корсакова, 5-7 ●HP：www.ambassador-hotel.ru/

地下鉄サドーバヤ駅、センナヤ広場より徒歩15分。2005年オープン。

ドストエフスキー (★★★★) Dostoevsky/Достоевский

●所在地：Vladimirsky pr. 19 / Владимирский пр., 19 ●HP：www.dostoevsky-hotel.com/en/

地下鉄ドストエフスカヤ駅から徒歩1分。

5. レストラン ※各情報は記載の内容が変更されている場合があります。

レストラン名	住所	電話	営業時間	備考
ロシア料理				
シュタッケンシュナイダー Штакеншнейдер	Millionnaya st. 10 Миллионная ул., 10	8(812) 401-6919	08:00- 23:00	当館から徒歩5分。ロシア料理を一通りお試しできるセットがおすすめ。
パールキン	Nevsky pro. 47	8(812)	12:00-	高級レストラン。内装は宮殿風

Палкинъ	Невский пр., 47	703-5371	23:00	のインテリア。洗練されたロシア料理が楽しめる。
ルースカヤ・リュモチナ ヤ№1 Русская Рюмочная№1	Konnogvardeisky boulevard, 4 Конногвардейский бульвар, 4	8 (812) 945-0890	11:00- 22:00	ウォッカ博物館と併設されたレストラン。店内は落ち着いた雰囲気。個室あり。
文学カフェ Литературное кафе	Nevsky pr. 18 Невский пр., 18	8 (812) 312-6057	12:00- 23:00	プーシキンが決闘直前に立った場所として有名。ピアノ、バイオリンの演奏がある。
ゴーゴリ Гоголь	Malaya morskaya. 8 Малая Морская, 8	8 (812) 312-6097	12:00- 23:00	ゴーゴリの時代を再現した内装。クラシカルで落ち着いた雰囲気。
チャーホフ Чеховъ	Petropavlovskaya. 4 Петропавловская, 4	8 (812) 234-4511	12:00- 24:00	お酒場で落ち着いた内装。手頃な価格でロシア料理を楽しむ。
サトコ Садко	Glinka str. 2 ул. Глинки, 2	8 (812) 903-2373	12:00- 23:00	「サトコ」とは古代ロシアから伝えられてきた物語。マリインスキー劇場の公演後に、バレリーナが訪れることがある。
デミヤーノフ・ウハー Демьянова Уха	Kronverksky pr. 53 Кронверкский пр., 53	8 (812) 232-4914	11:00- 24:00	ロシアの田舎風レストラン。ウハー（魚スープ）が美味しい。NHK でも取り上げられた。
和食				
メグミ MEGUmi	Pereulok Antonenko. 2 Пер. Антоненко, 2, (ロッテ・ホテル内)	8 (812) 384-2234	16:00- 23:00	高級レストラン。和風の内装で個室もあり。新鮮な海鮮料理、日本酒も楽しめる。
ヤルメン ЯРУМЭН	Malaya Morskaya st. 9 Малая Морская ул. 9 Nevsky. 88 Невский пр.88	8 (812) 312-9771 8 (812) 611-1112	12:00- 23:00	ラーメン店。市内に2店舗あり。各種ラーメンのほか、カレー・丼物等のサイドメニューも充実。価格もお手頃。
蝦夷居酒屋 EZO IZAKAYA	Volynskiy Per. 8 Волынский пер., 8	8 (999) 325-6556	12:00- 23:00 (金 - 土 は 13:00 から)	日本風の居酒屋。ラーメンのほか餃子やお寿司もあり。当館から徒歩10分。

はがくれ（葉隠） Хагакурэ	Pobedy sq. 1 Пл. Победы, 1	8(812) 317-2272	11:00- 23:00	山本常朝の書物『葉隠』から名前がとられたレストラン。弁当などのランチメニューがある。
銀座 Гинза	Artekarsky pr. 16 Аптекарский пр., 16	8(812) 640-1616	12:00- 23:00	高級レストラン。欧風アレンジの寿司が中心で、刺身や海鮮丼、にぎりメニューもある。
ナカチカ Накатика	Tuchkov Pereulok. 11 Тучков пер. 11	8(812) 986-4979	11:00- 23:00	日本の居酒屋をイメージしたレストラン。カツ丼もあり。
たいやき Тайяки	Marata str. 57 Ул. Марата, 57	8(931) 961-4961	11:00- 21:00 (木金は 22:00 まで)	日本で製法を学んだオーナーが経営するたいやきカフェ。NHKでも取り上げられた。
たこやき Такояки	Pereylok Krylova. 2 Пер., Крылова, 2	8(905) 257-1828	12:00- 22:00	気軽に入れる日本食カフェ。たこやきの他、丼ものや餃子がある。
韓国料理				
オンマネ Омманэ	Gorokhovaya Street. 3 Гороховая ул., 3	8(812) 571-6949	11:30- 22:30	オンマ（韓国語でお母さん）が作る韓国家庭料理レストラン。
マッコリ МаккоЛи	Soyuza Pechatnikov. 9/6 Союза Печатников, 9/6	8(812) 850-8500	11:00- 23:00	韓国焼肉サムギョプサルが食べられる。ほかにも韓国家庭料理多数あり。
バブジブ（飯家） BabJib	Mayakovskogo st. 1/96 Ул. Маяковского, 1/96	8(981) 942-1541	11:00- 23:00	手頃な値段。
ヨーロッパ料理				
ヨーロッパ Европа	Mikhailovskaya str. 1/7 Михайловская ул., 1/7 (グランドホテル・ヨーロッパ内)	8(812) 329-6630	18:00- 23:00 (水-日)	100年以上の歴史を持つホテルの高級レストラン。夜には生演奏が行われる。
スターラヤ・タモージニヤ Старая таможня	Tamozhenny Per. 1 Таможенный пер., 1	8(921) 911-9611	12:00- 23:00	高級レストラン。皇帝の命令で、洪水から守るため税関物品を保管していた建物とのこと。
テラッサ Терасса	Kazanskaya. 3(6F) Казанская, 3(6этаж)	8(812) 640-1616	11:00- 01:00	カザン聖堂の隣にあり、窓際の席からはカザン聖堂が見える。メニューは写真付きでわかりや

				すく、ロシア料理から西洋料理、寿司まである。
マンサルダ Мансарда	Str. Pochtamskaya.3(5F) ул. Почтамская,3(5этаж)	8(812) 640-1616	12:00- 01:00	ガラス張りの店内で、イサク聖堂が目の前に望める。
モスクワ Москва	Nevsky pr. 114 «Nevsky center»(6F) Невский пр.,114 ТК«Невский центр»(6этаж)	8(812) 640-1616	10:00- 01:00 (月火日は 23:00 まで)	ネフスキー大通りを挟んでモスクワ駅の向かい側にあるデパート「ネフスキーツェントル」内にある。上記「テラッサ」「マンサルダ」と同系列。
ストロガノフ・ステーキハウス Строганов Стейк Хаус	Konnogvardeisky boulevard. 4 Конногвардейский бульвар, 4	8(812) 314-5538	12:00- 00:00	本格的なステーキレストラン。店内は木製と革製のインテリアで落ち着いた雰囲気。
バーチ BIRCH	Kirochnaya Str.,3 Кирочная ул.,3	8(911) 920-3165	13:00- 23:30	評判のよいレストラン。
コーリュシカ Корюшка	Peter and Paul Fortress,13v Петропавловская крепость, 13в	8(812) 917-9010	12:00- 01:00	コーカサス料理をメインとした創作メニュー。ペトロパヴロフスク要塞の敷地内にあり、ネヴァ川を一望できる。
フランス料理				
デュノルド 1834 Du Nord 1834	Ligovsky pr. 41/83 Лиговский пр., 41/83	8(812) 578-1245	08:00- 22:00	モスクワ駅近くにある内装がお洒落なレストラン。
イタリア料理				
マルソ・ポロ Marso Polo	Emb. Kanala Griboedova, 2B Наб., Канала Грибоедва, 2B	8(921) 911-5010	09:00- 24:00 (土日は 10:00 から)	「血の上の救世主教会」から徒歩1分。モイカ川、ミハイロフ庭園に隣接し、大きな窓からの眺めが良い。
ボルサリーノ Борсалино	Malaya Morskaya str. 24 Малая морская ул., 24 (「アングレール」ホテル内)	8(812) 494-5115	07:30- 23:00	四つ星ホテル内にあるレストラン。洗練されたインテリアでお洒落な雰囲気。
イル・ミラネーゼ Il Milanese	Liteyniy Pro. 7 Литейный про., 7	8(962) 724-8940	12:00- 23:00 (土日は 13:00 から)	落ち着いたお洒落な内装。オーナーはミラノ出身のイタリア人。お酒の種類も豊富。

ペルコルソ Percorso	Voznesensky pr. 1 Вознесенский пр. 1	8(812) 339-8044	17:00- 24:00	「ライオン・パレス・ホテル」内にある、地中海風料理を提供するイタリアンレストラン。月曜休み。
ロメオズ レストラン Romeo's Restaurant	Pro. Rimskogo-Korsakova, 43 Про. Римского-Корсакова, 43	8(931) 232-3797	11:00- 00:00 (火-木は 23:00 まで)	マリインスキー劇場近くがあり、夜遅くまで営業しているので、観劇の後に立ち寄るのに便利なレストラン。
中央アジア・コーカサス料理				
ハチュー・ハルチョー Хочу Харчо	Str. Sadovaya, 39/41 ул. Садовая, 39/41	8(812) 385-3236	24H	ジョージア料理。2階建ての広いレストラン。メニューは写真付きで見やすい。
ルスタヴェリ Руставели	Emb. Reki moiki. 9K1 наб. Реки Мойки, 9K1	8(921) 598-1622	11:00- 23:00	ジョージア料理。当館から徒歩5分。落ち着いた雰囲気。
バクラジャン Баклажан	Ligovsky pr., 30A, «Galeria» (4F) Лиговский пр., 30А, ТК «Галерея» (4этаж)	8(812) 640-1616	10:00- 23:00	コーカサス料理。モスクワ駅近くのショッピングセンター「Galeria」の4階にある。
インド料理				
タンドール Tandoor	Admiralteysky pr. 10 Адмиралтейский пр., 10	8(812) 312-3886	12:00- 23:00	カレーのメニューが中心。本格的なインド料理。
オームンバイ Oh! MUMBAI	Nab. Reki Moyki. 62/2 Наб. Реки Мойки, 62/2	8(812) 314-0340	12:00- 23:00 (土日は 13:00 から)	ポップな内装のお店。豊富な種類のカレーが楽しめる。
ナマステ Namaste	Malaya Konyushennaya. 5 Малая Конюшенная ул. 5	8(812) 570-6886	12:00- 23:00	落ち着いた雰囲気 of インド料理屋。ランチメニューもあり。
カフェ				
セーヴェル Север	Nevsky pr. 6 Невский пр., 6	8(812) 329-8168	08:00- 22:00	市内に複数店舗あり。白くまが目印。ケーキの種類が豊富。おみやげ用のチョコレートボックスもあり。

ヴォルコンスキー Волконский	Bolshaya Konyushennaya st. 21/23 (「DLT」内) Большая Конюшенная ул., 21/23 (「ДЛТ」内)	8 (911) 024-5607	11:00- 23:00	ロシアの歴史あるベーカリー。 市内に数店舗あり。
シトーレ Штолле	Nevsky pr. 11 Невский пр., 11	8 (812) 314-7021	09:00- 22:00	ピローク（ロシアのパイ）専門 店。価格はお手頃。
ブシェー Буше	Malaya Morskaya. 7 Малая Морская ул., 7	8 (812) 640-5151	08:00- 22:00 (金土は 23:00 まで)	ベーカリーカフェ。キッシュや ケーキもある。市内に数店舗あ る。
シャスチエ СЧАСТЬЕ	Malaya Morskaya. 24 Малая Морская ул., 24	8 (812) 317-1022	09:00- 24:00	「アングレテール」ホテルに入 る、イサク聖堂近くのカフェ。 白とパステルカラーを基調とし た可愛い店内。

6. デパート、店舗

デパート・ショッピングセンター

Galeria (ガレリア) ГАЛЕРЕЯ

モスクワ駅の隣にある 5 階建てのショッピングセンター。ファッション、スポーツ用品、生活雑貨や映画館、食品スーパー、レストラン等、様々な業態の総計 350 店舗が入っている。

●所在地：Ligovsky pr. 30A / Лиговский пр., 30A ●営業時間：10:00～23:00

DLT (TSUM) ДЛТ (ЦУМ)

モスクワを始めロシア全土に展開する老舗デパート「ツム (TSUM)」のペテルブルク店。海外ブランドを主に様々な高級店が入っている。

●所在地：Bolshaya Konyushennaya st. 21-23 / Большая Конюшенная ул. 21-23

●営業時間：11:00～22:00

ゴスチーヌィ・ドヴォール Гостинный Двор

当市最古の百貨店。お土産や洋服、日用品、文房具等様々なものが売られている。

●所在地：Nevsky pr. 35 / Невский пр., 35 ●営業時間：10:00～22:00

ネフスキーツェントル НЕВСКИЙ ЦЕНТР

モスクワ駅のある蜂起広場駅前に所在。多数のブランドショップが入っている。その中にフィンランド発祥の「ストックマン」百貨店があり、主に食器・服飾雑貨を取り扱っている。地下に食料品店（ア

ズブカ・フクーサ（Азбука Вкуса）あり。

●所在地：Nevsky pr. 114-116／Невский пр., 114-116 ●営業時間：10:00～23:00

お土産店

ヘリテイジ Heritage 当館から徒歩2分の土産物店。

●所在地：Emb. Reki Moiki, 37／Наб. Реки Мойки, 37 ●営業時間：09:00～21:00

オネーギン ОНЕГИН 種類が豊富な土産物店。

●所在地：Ital'anskaya Str. 11／Итальянская ул. 11 ●営業時間：08:00～22:00

1 + 1 = 3

2つ買うともう1つ無料となる仕組みのお土産屋。小物を中心に、大きさや価格のちょうど良い品物が豊富。当館から徒歩5分。

●所在地：Nevsky pr. 13／Невский пр., 13 ●営業時間：10:00～22:00

セチ・スヴェニールニフ・マガジナフ（お土産ショップネットワーク）

Сеть сувенирных магазинов

当館から徒歩10分の土産物店。高級なものからお手軽なものまで、幅広い品揃え。

●所在地：Malaya Morskaya str. 8／Малая Морская ул., 8 ●営業時間：10:00～22:00

ブクヴォエド Буквоед 小物やお土産も取り扱う本屋。市内に複数所在。

●所在地：Nevsky pr. 46／Невский пр., 46 ●営業時間：08:00～24:00

エリセエフスキー Елисеевский

老舗高級食料品店。お菓子を中心に生鮮品まで売られている。店内の雰囲気、装飾だけでも一見の価値あり。NHKでも取り上げられた。

●所在地：Nevsky pr. 56／Невский пр., 56 ●営業時間：10:00～23:00

アートスペース ArtSpace イサク聖堂近くの土産物店。

●所在地：Konnohvardeyskiy Bul'var, 4／Конногвардейский бульвар, 4

●営業時間：08:00～21:00

インペリアル陶器直売店 Императорский фарфор

ロシア皇帝が使用していたロモノーソフ陶器の店。世界的に有名な当地の陶器ブランド。市内各所に直売店がある。

●所在地：Nevsky pr. 60／Невский пр., 60

●営業時間：10:00～22:00